

葵陵NEWS

第7号

2006
2・25

一足先に春到来

平成十八年度・大学入試合格状況

二月二十三日現在で、四年制大学への合格者数は二百五十五人。すでに昨年三月三十一日の実績を上まわっている。

うち国公立大学への合格者は二十二人と、昨年の合格者総数三十人を大きく上回ることは確実である。なかでも推薦入学試験では、筑波大学に四人、茨城



さあ、先輩に続け!

大学に四人が合格するといふ快進撃が続いている。

今年には医歯薬コースから初の卒業生が誕生する。現在、筑波大学の医学類、防衛医科大学の医学科に合格者を出すなど、確実にその成果を上げていく。

防衛医科大医学科(一次)、筑波大医学専門学群・第一学群(二人)、第三学群、茨城大人文学部、教育学部(二人)、工学部、福島大経済経営学部、人文社会学部、埼玉大工学部、茨城県立医療大保健医療学部、東京海洋大海洋工学部、防衛大理工学部(一次、八人)

寒さに負けず大活躍

スポーツの結果報告

■連覇を飾る剣道部

第二十三回茨城新聞社旗争奪選抜全国高校剣道大会が一月五日、土浦市の霞ヶ浦文化体育会館で行われた。

全国から男子百六十二校、女子百十八校が出場して団体トーナメント戦を行



い、男子で本校が昨年に続いて二年連続四度目の優勝に輝いた。

また、一月二十三日に茨城県武道館で開催された平成十七年度茨城県高等学校剣道新人大会(選抜予選)で、男子が優勝を果たした。

■柔道部大舞台に挑戦

全国高校選手権大会県予選が一月二十一日、水戸市の県武道館で行われ、今回から始まった女子団体戦で、本校が初優勝を果たした。三月の全国高校選手権大会への出場権を獲得した。

また、平成十七年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会が昨年

十一月十九・二十日に行われ、七十八キロ超級で本校の石山麻弥(石下西)が五位入賞を果たした。



■冬だ! 出番だ!

スキー部だ!

第四十一回関東高等学校スキー大会が一月二十四・二十六日に開かれた。本校勢は出場した百二十校中の男子総合二位に輝いた。

また二月四・七日のインターハイ、二月十九・二十一日の国体にも出場し、健闘した。出場した選手は次の通り。

中村祐介(明光)、黒田高光(石川)、足立翔(水戸四)、寺門慧(那珂三)

■その他の試合結果

(バスケットボール部)
茨城県新人大会で一月十四日、多賀高校と対戦したが、善戦むなしく一回戦敗退を喫した。これをばねに、春の関東大会上位進出に照準を合わせて部員一同燃えている!

名作続々と登場

書道部・文芸部も活躍

第六回茨城新聞学生書道紙上展で、最高賞である茨城県教育長賞を小川美紀(明光)が受賞した。

作品は宋時代の米元章の臨書。一字一画原帖に忠実で気力も張っており見事な作品と高い評価を受けた。

また昨年の第九回高校生新聞文芸コンクールの小説部門で、初見典隆(石川)が最優秀賞を受賞した。

出品した『拳』は、主人公と叔父、叔母、父親をめぐる複雑な人間関係を巧みにまとめた作品。審査員の小説家、宗田理氏にも絶賛された。